

学校 教育 目標	「心はひとつ 八景小！～自分らしさを発揮し、認め合い、思い合い、豊かに生きることができるようになります～」				
	【知】考え、つくります子 【徳】心豊かな子 【体】心身ともに健やかな子 【公】まちを愛する子 【開】自らかかわりあう子				
学校 概要	創立 72 周年	学校長 中川 琴似	副校長 帯川 理加	2 学期制	一般学級：13 個別支援学級：2 通級併設
	児童生徒数： 369 人		主な関係校： 金沢中学校・西柴中学校		

<b>教育課程全体で 育成を目指す資質・能力</b>	<b>金沢中 ブロック</b>	<b>小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組</b>
<協働して新しいものやことをつくりだす力> <自分づくりに関する力>	金沢中 八景小 釜利谷東小 文庫小 金沢小 能見台南小	○「コミュニケーション能力」と「課題解決のために協力する力」の育成 ○他人を思いやり、地域社会に貢献できる児童生徒の育成 ・小学校職員と中学校職員による授業参観と意見交流を行う(6月) ・ブロックの教務主任が集まって意見交換や情報共有を行う(年2回程度) ・児童生徒交流日を実施して中学校生活への見通しをもつ(10月) ・行事を通して小中の交流機会をもち、コミュニケーションを深める ・「こども会議」等の機会を生かして、協力して課題解決する力を育てる

<b>中期 取組 目標</b>	○協働的に解決策を見いだし実行できる学びを充実させます。 ・1年目は問題を見いだし、試行錯誤する過程を大切に授業づくりを推進します。 ・2年目は目的や意図に応じて、解決の道筋を自ら考える力を育てます。 ・3年目は伝え合うことで自分の考えを深めることができるようになります。 ○他者とのつながりを意識し、豊かな体験を通して、自分らしさを発揮する。 ・子ども人権会議「スマイル会」の活動やたてわり「なかよし活動」などを通して、自分のよさを生かして活動できるようにします。 ・地域とともに学べる環境を活かします。
-------------------------	---

重点取組分野	具体的取組
<b>知</b> 生きてはたらく知 担当 重点研究	①重点研究のテーマ「自己肯定感を育み学習意欲を高める授業づくり」の具現化に向けて、魅力的な言語活動、考えの形成の手立て、交流の場の適切な位置付けを工夫し、「学習が楽しい」「友達から認められて嬉しい」と感じられる授業展開を目指す。②問題を見い出し、試行錯誤する過程を大切にするために各学年において体験的な学習を取り入れていく。
<b>徳</b> 豊かな心 担当 道徳部	①児童人権委員会「スマイル会」を通して、子どもたちが日頃感じている思いを取り上げ、子ども目線から人権意識の向上を図るとともに、豊かな心と自己肯定感を育む。②たてわり活動や全校遠足などを通して、協力し合い認め合う心情を育て、人間関係をより深めていく。
<b>体</b> 健やかな体 担当 体育部	①運動の特性や一人ひとりの実態に応じた指導を意識し、楽しく運動に取り組めるような授業を展開する。②健康面・体力面が向上するように「外遊びデイ」や集会など、授業以外での取組を通して運動に親しむ。③心と体が健康になるような活動・集会を行う。
<b>公 開</b> 自らかかわる子 担当 教務部	①「自分づくりパスポート」を活用し、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり、振り返ったりして、子ども自身の変容や成長を自己評価できるようにする。②学区の商店街や地域の方々とのかかわりを深め、子どもたちが地域とともに学べる環境をつくる。
<b>いじめへの対応</b> 担当 児童支援専任	①全職員で子どもたちへの声かけや指導、支援を継続して行う。②YPアセスメントシート・生活アンケートからいじめの早期発見、早期解決に努める。③「いじめ対策校内委員会」を月1回実施し、全職員で共通理解を図るとともに、関係機関との連携を図り、迅速に対応できるよう組織的に取り組む。
<b>人材育成・ 組織運営(働き方)</b> 担当 教務部	①学年研究会を充実させ、教材研究や児童理解を深めるように努め、職員間で共通理解を密に図る。②経験豊かな教師が経験の浅い教師に指導法を伝える研修の機会を設けるとともにメンター同士の活動を確保する。③教職員間のチーム意識や働き方意識を高めるための研修を行っていく。
<b>特別支援教育</b> 担当 特別支援委員会	①全校の子ども一人ひとりを大切にすることを前提とし、児童理解の情報交換を常日頃から行う。②支援が必要な子ども一人ひとりのニーズに合った個別の教育支援計画や個別の指導計画を作成し、継続的に支援する。③通級指導教室では、在籍校との連携を深めていく。
<b>地域学校協働活動</b> 担当 教務部 評価委員会	①学校運営協議会で、地域の方々による登下校時の見守り活動について協議する。 ②地域コーディネーターを中心に地域学校協働本部を設立する。
<b>a14</b> 担当	a24
<b>a15</b> 担当	a25